

# レートメイク・約款等

2023年 4月17日  
北陸電力株式会社

# レートメイク・約款等について（概要）

- ・今回の料金改定では、基本料金を維持し、電力量料金を改定しております。なお、2023年4月1日からの託送料金単価の見直し相当分については、基本料金および電力量料金に反映しております。
- ・3段階料金制について、生活に必要不可欠なご使用量に相当する第1段階料金の改定幅を小さく、また、節電・省エネ推進の観点から、第3段階料金については改定幅を大きくしております。
- ・環境負荷の低減や支払方法の多様化等を踏まえ、ご契約条件を変更いたします。  
なお、お客さまへの周知期間を十分に確保するため、一部の内容は、2024年4月から実施いたします。
- ・料金改定の内容およびご契約条件の変更内容について、HPや文書郵送、説明会等により説明しております。  
また、専用ダイヤルを設置し、お問い合わせに対し、丁寧にお応えしております。

## ■ お客さま説明会の開催実績

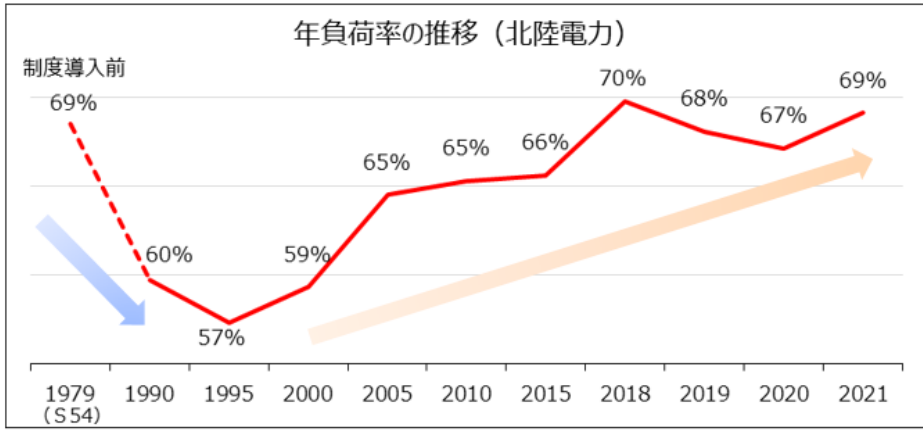
1. 開催期間：2022年12月21日(水) ～ 2023年2月10日(金)
2. 開催回数・会場数：全76回、北陸各地41会場で開催
3. 参加者数：総数3,257名
  - ・一部の会場では、定員を超過したため、定員の増員や追加開催することで、ご希望される全てのお客さまにご参加いただきました。

	合計		富山県		石川県		福井県	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
総合計	76	3,257	※28	1,334	27	1,017	21	906

※ 岐阜県飛騨市を含む

# 季節別料金制の見直し

- ・季節別料金制については、夏季ピーク需要の抑制を目的に、1980年に導入されましたが、近年、多様な電気機器や太陽光発電が普及した結果、夏季需要の先鋭化が弱まってきております。
- ・また、気象条件・市場価格・需給状況等により、夏季以外の時期においても需要抑制が必要となっている状況を踏まえ、固定的な料金単価による需要抑制に代えて、柔軟なデマンドレスポンスや節電・省エネ活動の推進により、需要抑制を図っていきたいと考えております。



※年負荷率・・・「1年における平均電力（年間平均値）÷夏季最大電力」で算出。平均電力と夏季最大電力の差が縮小すると、年負荷率は上昇。

その他季の市場価格が、夏季の平均市場価格を上回る時間帯も出ており、夏季以外の時期においても需要抑制が必要となっております。

年度別北陸エリアスポット市場価格(月間平均)


年度	その他季			夏季			その他季						その他季平均	夏季平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
2022	17.41	16.42	19.83	23.88	24.43	23.60	20.00	19.61	24.01	19.50	15.32	10.21	18.04	23.97
2021	6.89	6.85	7.62	8.39	8.49	8.40	13.86	20.44	18.43	23.69	21.19	25.44	16.05	8.43
2020	4.20	3.63	4.65	4.03	7.23	7.21	5.54	6.32	15.76	60.00	6.91	6.13	12.57	6.15
2019	7.00	6.74	7.18	6.86	8.60	8.38	7.77	6.98	7.85	7.29	6.36	5.06	6.92	7.94

その他季における30分コマ数


年度	全体コマ数	夏季平均を上回るコマ数
2022	13,104	2,305 <18%>
2021	13,104	9,167 <70%>
2020	13,104	5,721 <44%>
2019	13,152	3,819 <29%>

- ・需要抑制は夏季以外の時期でも重要と考えており、当社は、デマンドレスポンスや節電・省エネ推進活動を進めていくことにより、需給状況に応じて柔軟な需要抑制を図っていきたいと考えております。
- ・具体的には、必要な時期に節電をお願いし、インセンティブを付与することで、お客さまが節電効果をより実感いただけるキャンペーン等に加え、節電に関する情報やサービス等の発信に努めることで、節電・省エネを推進してまいります。

施策例	内容	お客さまへの周知
<p>みんなde節電 チャレンジキャンペーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年同月比の使用量削減で、ポイント等を進呈するキャンペーンをこれまで3回実施                      ※2022/6/21開催の「物価・賃金生活総合対策本部」において、家庭向けの独自の取組みとして、2021年度冬季の実績が紹介</li> <li>・更に、2022年度冬季は国の節電事業に参画し、参加件数を拡大                      （実績：2021年度冬季（2022年2月～3月分）、参加件数：約3.5万件                      2022年度夏季（2022年7月～9月分）、参加件数：約5.8万件                      2022年度冬季（2023年1月～3月分）、参加件数：約21万件）</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も需給状況を踏まえつつ、キャンペーン実施を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやメール、新聞広告等でキャンペーン参加呼びかけ</li> </ul>

施策例	内容	お客さまへの周知
出かけて節電	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力企業様の店舗へ出かけていただくことで、ご家庭での電力のご使用を抑えていただく取組み</li> <li>・クーポン提示で、協力店舗様より割引等の特典を進呈</li> </ul> <p>実績：2022年度夏季 (7月19日～9月30日の平日)</p> <p>2022年度冬季 (12月1日～3月31日の平日)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやメールで参加を呼びかけ</li> </ul>
節電術募集・投票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電術を募集・公表、投票によって決定した優秀提案にポイントを進呈</li> </ul>	

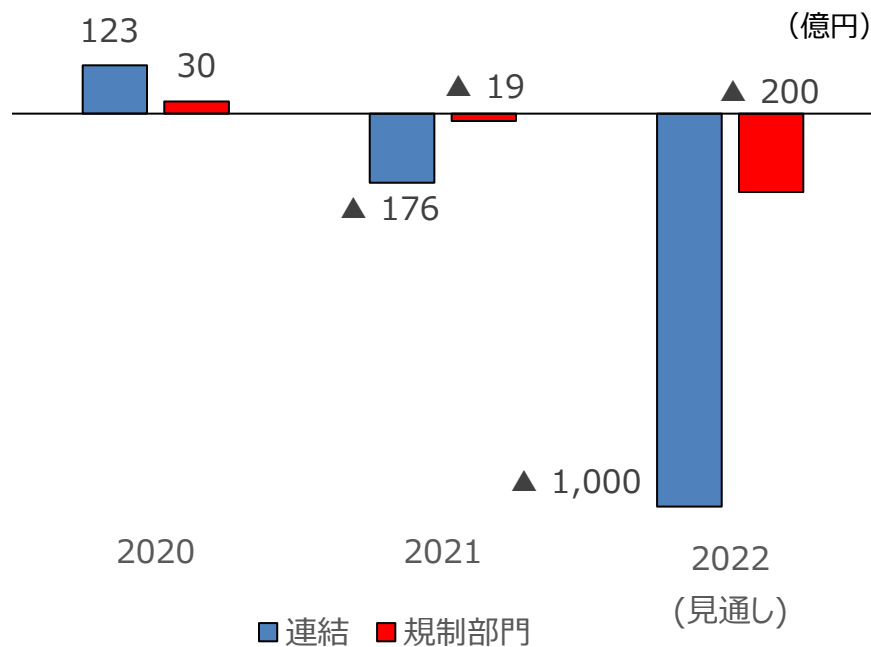
(参考) 自由料金における取組み

<p>ほくリンクアプリ デマンドレスポンスサービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社が予め指定した日時に節電していただき、その節電量に応じてポイントを進呈 (2022年12月20日サービス開始)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ上で節電日時をお知らせ</li> </ul>
<p>デマンドレスポンスメニュー 節電ととく電灯 節電ととくプラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電にご協力いただけるお客さま向けの電気料金割引メニュー</li> <li>・予め節電実施日をメールで通知、節電実績に応じて電気料金を割引</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールで節電実施日をお知らせ</li> </ul>

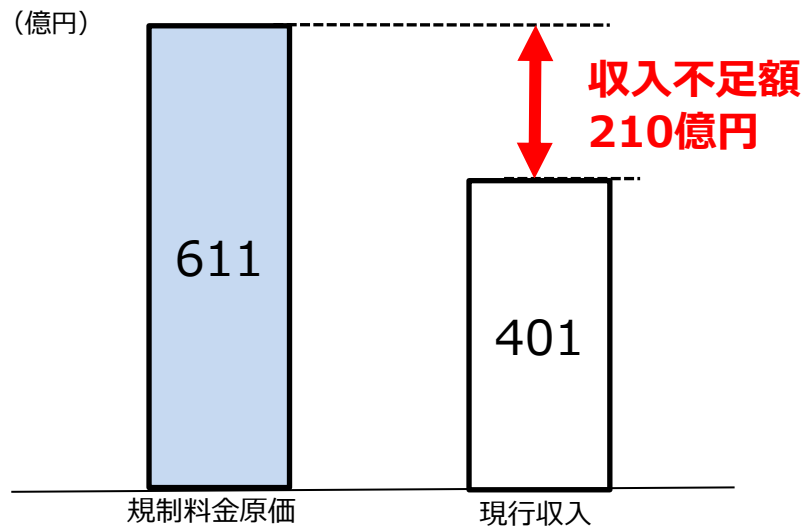
値上げ後5年間の損益と財政状態（自己資本比率）の計画

- ・2022年度末には連結自己資本比率が13%の見込みとなる等、自己資本が大幅に毀損し危機的状況にあります。今回の料金改定により、収支・財務基盤の回復を目指しております。また、料金改定だけでなく、引き続き徹底した経営効率化を実施していくとともに、関係会社を含めたグループ全体で更なる収支改善に取り組み、経営状況を改善させていきたいと考えております。
- ・規制部門収支については、2022年度は▲200億円程度の赤字となる見通しです。
- ・現状、燃料価格や市場価格の動向や値上後の競争状況等の見通しが不透明ではありますが、今回、規制料金は210億円の値上を申請させていただいており、更なる収支改善にも取り組むことで、規制部門収支の赤字を解消し適正な利益確保を目指してまいりたいと考えております。

■ 収支（経常利益）の状況



■ 規制部門の増収見込み額（認可申請上の収入不足額）



※原価・収入（現行を除く）に、2023年4月1日からの託送料金の見直し相当分および燃料価格・卸電力市場価格の補正結果を反映

### ① 規制料金値上げ後の自由料金の設定方針

- ご家庭向けの自由料金については、お客さまの多様なニーズにお応えするため、規制料金の枠組みにとらわれない、様々な料金メニューを設定しております。最近では、電化メニューに加え、節電に資する行動に応じてポイントが貯まるサービスとセットでご加入いただけるメニュー等、選択肢の拡充に努めております。
- 例えば省エネ機器であるエコキュートをご使用いただく場合等、ご契約条件やお客さまのご使用実態に応じて規制料金よりも安価となるメニューを設定しております。

### ② 消費者が自由料金に変更しやすくなるための対策

- お客さまにご使用実態にあった最適な料金メニューを選択いただくよう、ホームページにおいて料金メニューを比較・試算いただけることに加え、コールセンターへお問合せいただければ、最適な料金メニューをご案内するよう努めております。
- 料金改定後においても、引き続き、お客さまに対して最適となる料金メニューを提案・推奨してまいります。加えて、ホームページや会員サービス、コールセンター等を通じて、引き続き、自由料金に関する情報を提供してまいります。

以上